

## Info&Report 編 幼小合同研修会

6月21日(水)、「幼小合同研修会」を行いました。

現在、滑川市には15の保育園・幼稚園・認定こども園があります。そこから各小学校との円滑な接続が求められています。

滑川市はこれまでも「幼・小連携事業」をすすめており、幼・小教諭の互いの参観や幼児と児童の交流等を行ってきています。また、「育ちの支援・引継ぎシート」を使って幼から小への引き継ぎが円滑になるよう進めています。

そういった中、今年度は、さらに円滑な接続となるよう、最近取り組まれた事例を3つ、まず発表していただきました。

1つ目は市教委から、昨年度行った南部小校区での保・小・中のつながりづくりをした実践が発表されました。2つ目は寺家小学校から、1年生を迎えてからの3週間のカリキュラム(スタートアップ・カリキュラム)作成や環境の整え方の事例が発表されました。そして、3つ目の早月加積認定こども園からは小学校でアンケート調査を実施、入学後の児童の様子から園での活動を見直したことや、園に小学校教諭に参観に来てもらい協議会をもった実践を提案されました。

その後のグループワークでは、スタートアップ・カリキュラムの作成に向けて、今現在、行っている交流活動や接続を意識した活動を校区ごとに書き出し、これからも続けていくことやこれから新たに取り組んでいけることを洗い出し、昨年に引き続きアドバイザーになっていただいている附属幼稚園元副園長の廣田仁美先生に助言をいただきました。

幼児教育から小学校教育へ円滑に接続することは、誰もが願っていることです。今、行っている交流活動や先生方の交互の参観で互いの距離を縮めながら、スタートアップ・カリキュラムを作成・実施していけるよう、進めていきたいと思います。

